

登録日 2015/1/27

レジメン名 Pan004

腫瘍名 膵臓がん

申請診療科 消化器内科

投与スケジュール

nab-PTX+GEM				1コース28日 × PDまで						
				1コース			2コース			
				1	8	15	22	29	...	(day)
①	デキサート	6.6 mg	点滴 30分	↓	↓	↓		↓		
	パロノセトロン	0.75 mg		↓	↓	↓		↓		
	生理食塩水	50 mL		↓	↓	↓		↓		
②	アブラキサン	125 mg/m ²	点滴 30分	↓	↓	↓		↓		
	生理食塩水	100 mL		↓	↓	↓		↓		
③	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓		↓		
	(アブラキサン後のフラッシュ)		全開	↓	↓	↓		↓		
④	ゲムシタピン	1000 mg/m ²	点滴 30分	↓	↓	↓		↓		
	生理食塩水	100 mL		↓	↓	↓		↓		
⑤	生理食塩水	50 mL	点滴 5分	↓	↓	↓		↓		
	(ゲムシタピン後のフラッシュ)		全開	↓	↓	↓		↓		

注意事項

- ・インラインフィルターは使用しない(アルブミン結合製剤のため、目詰まりを起こすため)
- ・特定生物由来製品に該当するため、施用記録の保管は特定生物由来製品に準ずる。
- ・調製上の注意
溶媒は生理食塩水を用いる(20mL/Vで溶解)。溶媒の残液はすべて廃棄し、空ボトルにアブラキサンの懸濁液を入れる。
懸濁液は調製後速やかに使用する、もしくは、冷所(2~8°C)に遮光保存して8時間以内に使用する。
- ・適応: 治癒切除不能な膵臓がん
- ・適応基準(中止・延期基準)
Day1: 好中球 > 1500/mm³、血小板 > 10万/mm³ ⇒ 満たさないときは延期。
Day8、15: 好中球 < 500/mm³、血小板 < 5万/mm³ ⇒ 休薬
* Day8、15の好中球数500~1000/mm³、血小板5~7.5万/mm³では投与量変更なし
または1段階減量の対応をする。
- ・減量基準(目安)
アブラキサン 通常量: 125mg/m² ⇒ 100mg/m²(1段階減量) ⇒ 75mg/m²(2段階減量)
ゲムシタピン 通常量: 1000mg/m² ⇒ 800mg/m²(1段階減量) ⇒ 600mg/m²(2段階減量)

参考文献

- 1) Daniel D. *et al.*, Increased Survival in Pancreatic Cancer with nab-Paclitaxel plus Gemcitabine, *N. Eng. J. Med.*, **369**, 1691-1703 (2013).
- 2) アブラキサン適正使用ガイド, 2014年7月改訂版.